

・ 今回のミーティングのファシリテーションは2023年後半のItoミーティングのファシリテーションより難易度を高く感じました。(結果的には一人が増えただけではあったのですが。)

でもこういった暗黙になっていそうな前提条件を一度外してみるというのは自分の思考の柔軟性を保つという意味でも大事だなと思って、そんな機会を陽子さんに頂いたと思っています。

メンバーからのコメントで、世代間ギャップを乗り越えるという意味でもミーティングに参加し、継続参加希望をしてくれたことを嬉しく思いました。

子供ほど年齢が離れていればジェネレーションギャップがあることも自然と理解できますが、つい相対的な年齢で感覚の近さを計ってしまいそうになりますが、一方で、他人は自分ほど近くも思っていないということは改めて頭に入れておこうとも思いました。

それぞれの年間目標についてのフィードバックの時間では、陽子さんからのコメントが出るまではスイッチが入り切っていなかったなと思いました。

メンバーの目標はいずれも長期戦で、一進一退の長丁場になるからこそ、毎月のフィードバックでは改めて真剣にフィードバックしたいと思いました。

話している中だと、つい会話の流れに乗っていってしまいそうになりますが、本気で達成してほしいと思うからこそ、出来なかったことへのフィードバックもしっかり行うことを、2024年も意識していきたいと思いました。

その他、あるメンバーに対するフィードバックに対して、「普通の関わり」をすると陽子さんから伝えられました。

特性に対する配慮をしつつも、目標に対する見積の甘さがあったなら、他のメンバーと同じように伝えていくことがこれから必要になることを改めて説明頂き、目標設定に関わる仲間として接していきたいと思いました。

そして、ミーティングの中で、私が所属している他のオンラインコミュニティでのことを、この10プロにもフィードバックしてほしいという意見を頂きました。

男性目線であったり、年齢の幅であったり、現状の10プロでは結果的にないものを、他から見つけ出して題材として提供していくということも、2024年、10プロの幅を広げるためにもやっていきたいと思いました。

(A.S 40代女性 北海道)